

年度	2022年度	学期	前期
科目名	経営学Ⅰ	単位	2単位
学科コース	国際貿易コース		
講師名	前田 恭孝		
実務経験 教員紹介	銀行の本社で戦略/計画策定、支店/子会社管理、商品/チャネル/マーケティング企画、経営コンサルタントとして戦略策定、事業開発、マーケティング推進などを行っていた。		

講義概要
企業の中心形態である株式会社について、成立経緯、大規模化、独占・寡占行動とそれに対するコーポレート・ガバナンスを、また、彼らの出現によって劇的に変化した産業界の要請により誕生した経営学について、成立経緯と初期理論である科学的管理法、人間関係論などを学ぶ。
達成目標
現代の社会・経済の中心にある企業を説明する用語・概念、基礎的な理論を学び、企業がどのような機関で、何をどのように行っているところかを知る。
学修成果
将来、皆が働く企業がどのような仕組みで成立・活動しているか、そこで働くとはどういうことかを知り、具体的イメージをもって社会人になる準備を進めることができる。

#### 授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	配布資料の見直し
	授業計画	株式会社とは：会社形態の変遷、株式会社の成立メカニズム		授業計画	独占・寡占行動(3)：財閥、トラストによる独占
	事後学習	該当箇所の復習		事後学習	該当箇所の復習
2	事前学習	配布資料の見直し	10	事前学習	配布資料の見直し
	授業計画	巨大化した株式会社：経営・出資の分離、拡大する社会的責任		授業計画	コーポレートガバナンス(1)：目的と概要、株主総会
	事後学習	該当箇所の復習		事後学習	該当箇所の復習
3	事前学習	配布資料の見直し	11	事前学習	配布資料の見直し
	授業計画	経営学の誕生：20世紀初頭の産業状況と新たな学問への要請		授業計画	コーポレートガバナンス(2)：取締役会、代表取締役、強化策
	事後学習	該当箇所の復習		事後学習	該当箇所の復習
4	事前学習	配布資料の見直し	12	事前学習	配布資料の見直し
	授業計画	科学的管理法：テーラーの科学的実験と新たな工場作業		授業計画	企業活動(人・物・金)(1)：企業活動の必要要素
	事後学習	該当箇所の復習		事後学習	該当箇所の復習
5	事前学習	配布資料の見直し	13	事前学習	配布資料の見直し
	授業計画	人間関係論：ホーソン実験と欲求・非公式集団の発見		授業計画	企業活動(人・物・金)(2)：情報資源、活動ドメイン
	事後学習	該当箇所の復習		事後学習	該当箇所の復習
6	事前学習	配布資料の見直し	14	事前学習	配布資料の見直し
	授業計画	伝統的管理論：経営職能・管理過程とプロセス学派		授業計画	期末試験準備：前回までの授業の振り返り・総括
	事後学習	該当箇所の復習		事後学習	説明内容の復習
7	事前学習	配布資料の見直し	15	事前学習	期末試験の準備
	授業計画	独占・寡占行動(1)：特許、商標、紳士協定、談合による独占		授業計画	期末試験：試験実施
	事後学習	該当箇所の復習		事後学習	試験の振り返り
8	事前学習	配布資料の見直し			
	授業計画	独占・寡占行動(2)：合併・買収、系列による独占			
	事後学習	該当箇所の復習			

評価方法 出席状況：30% 定期試験：50% < ( 取組姿勢 ) >：20%

教科書 著者名  
タイトル  
出版社  
参考書 著者名  
タイトル  
出版社

年度	2022 年度	学期	後期
科目名	経営学Ⅱ	単位	2 単位
学科コース	国際貿易コース		
講師名	前田 恭孝		
実務経験 教員紹介	銀行の本社で戦略/計画策定、支店/子会社管理、商品/チャネル/マーケティング企画、経営コンサル タントとして戦略策定、事業開発、マーケティング推進などを行っていた。		

講義概要
経営学Ⅰに続き、経営学の諸理論を学ぶ。バーナードの近代管理・組織論、サイモンの経営行動論・意思決定論、 マーチのあいまい理論など、今日の経営学の基礎となった理論を対象とする。あわせて、自己と組織の関係を 知るため、マズローの欲求階層説、マクレガーの X 理論・Y 理論を学ぶ。
達成目標
組織活動とはどういうものか、活動の維持には何が必要で、そこで問題になるのは何か、現実にはどう運営されて いるかなど、組織で活動するとき役立つ知識を身に着ける。
学修成果
社会人になった時、上司や先輩が言うことに対して、あてをつけて自ら調べたり仲間に聞いて意味を理解すること、 また、企業・経営についてさらに深く勉強することが可能になる。

#### 授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	配布資料の見直し
	授業計画	バーナードの理論(1)：理論の構造と 組み立て		授業計画	マーチの理論(1)：理論の背景とゴミ箱 モデル
	事後学習	該当箇所の復習		事後学習	該当箇所の復習
2	事前学習	配布資料の見直し	10	事前学習	配布資料の見直し
	授業計画	バーナードの理論(2)：人間モデル、 協働、システム発想		授業計画	マーチの理論(2) キューバのミサイル 危機による実証
	事後学習	該当箇所の復習		事後学習	該当箇所の復習
3	事前学習	配布資料の見直し	11	事前学習	配布資料の見直し
	授業計画	バーナードの理論(3)：公式組織、誘 因・貢献、情報体系		授業計画	マーチの理論(3)：あいまい理論以降の 現実に近づく諸工夫
	事後学習	該当箇所の復習		事後学習	該当箇所の復習
4	事前学習	配布資料の見直し	12	事前学習	配布資料の見直し
	授業計画	サイモン理論の(1)：過去理論の批判、 サイモン理論の位置		授業計画	職場での自己(1)：マズローの欲求階層 説
	事後学習	該当箇所の復習		事後学習	該当箇所の復習
5	事前学習	配布資料の見直し	13	事前学習	配布資料の見直し
	授業計画	サイモンの理論(2)：組織活動の関数 化		授業計画	職場での自己(2)：マクレガーの X 理 論、Y 理論
	事後学習	該当箇所の復習		事後学習	該当箇所の復習
6	事前学習	配布資料の見直し	14	事前学習	配布資料の見直し
	授業計画	サイモンの理論(3)：限定された合理 性、組織内の葛藤		授業計画	期末試験準備：前回までの授業の振り 返り・総括
	事後学習	該当箇所の復習		事後学習	説明内容の復習
7	事前学習	配布資料の見直し	15	事前学習	期末試験の準備
	授業計画	サイモンの理論(4)：Organizations 以降の考え方		授業計画	期末試験：試験実施
	事後学習	該当箇所の復習		事後学習	試験の振り返り
8	事前学習	配布資料の見直し		事前学習	配布資料の見直し
	授業計画	サイモンの理論(補足)：サイモンを否 定した諸理論		授業計画	
	事後学習	該当箇所の復習		事後学習	

評価方法 出席状況：30% 定期試験：50% < ( 取組姿勢 ) >：20%

教科書 著者名  
タイトル  
出版社  
参考書 著者名  
タイトル  
出版社

年度	2022年度	学期	前期
科目名	ホスピタリティ論	単位	2単位
学科コース	国際貿易コース		
講師名	伊藤 憲彦		
実務経験 教員紹介	自動車販売会社での法人営業・個人営業、学習塾での学習指導および経営・管理者・個人営業、私立中学・高校での学習指導および生徒・進路指導		

講義概要
一般的に、「ホスピタリティ」とは「おもてなし」や「心配り」など、サービスの延長線上にあるもの、もしくはサービスを補充するものとして混同・誤解されている場合が多い。本講義では、ホスピタリティ産業と呼ばれる業界の様々な事例を紹介しながら、サービスとホスピタリティの違いやホスピタリティの基本的な考え方を学ぶ。
達成目標
ホスピタリティの基本的な考え方を理解したうえで、ホスピタリティ産業にはどのような業種業態があるのか、そこで発揮されるべき「ホスピタリティ」はどんなことなのかを学び、普段の生活の中でも発揮できるようにする。
学修成果
日常生活で相手を思いやって行動することができるようになる。また、ホスピタリティ産業に興味を持ち、就職活動等に役立てることができるようになる。

#### 授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	事前配布資料に目を通しておく
	授業計画	ガイダンス なぜ、「ホスピタリティ」を学ぶのか		授業計画	業界・職業研究②（バス・鉄道・航空）
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
2	事前学習	事前配布資料に目を通しておく	10	事前学習	事前配布資料に目を通しておく
	授業計画	モノ消費からコト消費の時代へ		授業計画	業界・職業研究③（旅館・ホテル）
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
3	事前学習	事前配布資料に目を通しておく	11	事前学習	事前配布資料に目を通しておく
	授業計画	サービスとは何か？		授業計画	業界・職業研究④（テーマパーク）
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
4	事前学習	事前配布資料に目を通しておく	12	事前学習	事前配布資料に目を通しておく
	授業計画	サービス品質の特徴と品質基準		授業計画	業界・職業研究⑤（飲食・小売）
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
5	事前学習	事前配布資料に目を通しておく	13	事前学習	事前配布資料に目を通しておく
	授業計画	ホスピタリティの定義とサービスとの関係		授業計画	業界・職業研究⑥（冠婚葬祭事業）
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
6	事前学習	事前配布資料に目を通しておく	14	事前学習	前回の復習
	授業計画	ホスピタリティが生まれやすい企業文化とは？		授業計画	テスト対策
	事後学習	授業の復習		事後学習	テスト勉強
7	事前学習	事前配布資料に目を通しておく	15	事前学習	テスト勉強
	授業計画	現状と今後の課題		授業計画	定期試験
	事後学習	授業の復習		事後学習	試験の振り返り
8	事前学習	事前配布資料に目を通しておく		事前学習	
	授業計画	業界・職業研究①（旅行）		授業計画	
	事後学習	授業の復習		事後学習	

評価方法 出席状況：30% 定期試験：40% <（授業態度）>：30%

教科書 著者名  
タイトル 資料を随時配布  
出版社

参考書 著者名  
タイトル 特になし  
出版社

年度	2022年度	学期	後期
科目名	ホスピタリティ人材論	単位	2単位
学科コース	国際貿易コース		
講師名	伊藤 憲彦		
実務経験 教員紹介	自動車販売会社での法人営業・個人営業、学習塾での学習指導および経営・管理者・個人営業、私立中学・高校での学習指導および生徒・進路指導		

講義概要
現在では、感情的知性が求められている。その中で、知識や情報をコントロールし、他者との信頼に基づいたコミュニケーションのあり方や人間だけが持つ他者への共感という心の動きに着目し、ホスピタリティ産業に従事する人材が持つべき社会性やコミュニケーション能力について考察する。
達成目標
「相手の立場に立って考え行動する」という顧客への共感や、顧客との信頼関係が不可欠になるので、顧客満足のため、授業で学んだ事を生かして、普段の生活から誠実さや責任感を身に付ける。
学修成果
ホスピタリティ人材として、相手の立場に哲多考えて行動できるようになる。また、普段の行動から先の見通しができるようになり、生産性の向上ができるようになる。

#### 授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	事前配布資料に目を通しておく
	授業計画	ガイダンス なぜホスピタリティ人材論を学ぶのか？		授業計画	感情労働におけるコミュニケーションとその特質
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
2	事前学習	事前配布資料に目を通しておく	10	事前学習	事前配布資料に目を通しておく
	授業計画	感情労働の拡大		授業計画	感情労働と心の商品化
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
3	事前学習	事前配布資料に目を通しておく	11	事前学習	事前配布資料に目を通しておく
	授業計画	感情的知性「EI」 なぜ「EI」が重要なのか		授業計画	「接客」の特質 非接客活動と接客活動
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
4	事前学習	事前配布資料に目を通しておく	12	事前学習	事前配布資料に目を通しておく
	授業計画	事例研究①		授業計画	事例研究③
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
5	事前学習	事前配布資料に目を通しておく	13	事前学習	事前配布資料に目を通しておく
	授業計画	共感の3タイプ 認知的共感・情動的共感・共感的行動		授業計画	サービスパーソンとホスピタリストのちがい
	事後学習	授業の復習		事後学習	授業の復習
6	事前学習	事前配布資料に目を通しておく	14	事前学習	前回までの復習
	授業計画	顧客に提供する3つの価値 経済的価値・機能的価値・感情的価値		授業計画	テスト対策
	事後学習	授業の復習		事後学習	前回までの復習
7	事前学習	事前配布資料に目を通しておく	15	事前学習	授業の復習
	授業計画	第3の場所（サードプレイス）		授業計画	定期試験
	事後学習	授業の復習		事後学習	試験の振り返り
8	事前学習	事前配布資料に目を通しておく			
	授業計画	事例研究②			
	事後学習	授業の復習			

評価方法 出席状況：30% 定期試験：40% <（授業態度）>：30%

教科書 著者名  
タイトル 資料を随時配布  
出版社

参考書 著者名  
タイトル 特になし  
出版社

年度	2022 年度	学期	前期
科目名	マーケティング I	単位	2 単位
学科コース	国際貿易コース		
講師名	金森 尚人		
実務経験 教員紹介	40 年間海外政府機関において通商、マーケティング、観光を専門職として従事。また国内外（タイ、ミャンマー）の大学にて、日本ビジネススタンダードとビジネスマナーを指導。		

講義概要
本授業では企業、個人生産者としてマーケティングとはなにかを、講師のこれまでのビジネス経験から理論と実践を教示し、また個人としてマーケティングを学ぶことで、いかにスマートに、快適に生活が出来、また個人が人生において勝つ確率を最大限に高められる思考法を、マーケティングを通し指導する。
達成目標
所謂マーケティング思考を養うディベート、グループプレゼン、ロールプレイなどを通し、マーケティング思考の出発点を企業側ではなく、顧客側(個人)に置くことの重要性を理解
学修成果
マーケティングを学ぶことで、企業人・個人経営者として収益を最大化し、個人として、人々と効率よくコミュニケーションをとり、スマート、快適な生活が出来る人間となる。

#### 授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	教科書にて予習
	授業計画	オリエンテーション 授業の進め方、マーケティングの定義など		授業計画	4C の重要性と顧客視点 企業での事例
	事後学習	PPT コピーにて予習		事後学習	顧客視線での 4C の重要性を確認
2	事前学習	配布資料にて予習	10	事前学習	マーケティングの基本戦略を予習
	授業計画	企業・個人経営者側から、また個人としてなぜマーケティングが必要か		授業計画	競争の基本戦略とは、コストリーダーシップ、差別化、集中化を学習
	事後学習	資料にて復習		事後学習	マーケティング戦略の基本を復習
3	事前学習	教科書、PPT 資料より予習	11	事前学習	前授業での成功企業を調査 発表準備
	授業計画	マーケティングの基本フレームワーク。3C, SWOT		授業計画	自社の市場シェアとブルーオーシャン・レッドオーシャン プレゼン
	事後学習	プレゼンテーションの準備		事後学習	発表の企業調査
4	事前学習	グループプレゼンの準備	12	事前学習	サービスマーケティングを予習
	授業計画	マーケティングの基本フレームワーク。STP, 4P		授業計画	顧客満足の実現法 顧客ロイヤリティー サービスプロフィットチェーン
	事後学習	フレームワークの復習		事後学習	配布書類での復習 (PPT)
5	事前学習	グループプレゼンの準備	13	事前学習	PPT 資料にて予習
	授業計画	マーケティングの基本フレームワーク。PEST, 5 Forces		授業計画	サービスマーケティング 企業での成功例と失敗例
	事後学習	フレームワークの復習		事後学習	ネットにて成功企業を調査
6	事前学習	PPT 資料にてフレームワークの復習	14	事前学習	期末試験用これまでの資料整理
	授業計画	4P での企業成功例と失敗事例。フレームワークの復習。		授業計画	講義のまとめ、期末試験前の準備
	事後学習	成功企業の事例をサイトで調査		事後学習	期末試験の準備
7	事前学習	教科書にて予習	15	事前学習	期末試験前準備
	授業計画	製品、サービスの価値を伝える。顧客の選択肢。差別化。		授業計画	期末試験
	事後学習	教科書、配布書類での復習		事後学習	試験の振り返り
8	事前学習	教科書での予習			
	授業計画	PR と広告の違い。価値を最大化するチャンネルを学習			
	事後学習	ウェブにてチャンネルを調査			

評価方法 出席状況 : 20% 定期試験 : 70% < (Debate Presentation) > : 10%

教科書 著者名 平野敦士カール  
 タイトル マーケティング見るだけノート  
 出版社 宝島社

参考書 著者名  
 タイトル 適宜資料作成にて授業  
 出版社

年度	2022 年度	学期	後期
科目名	マーケティングⅡ	単位	2 単位
学科コース	国際貿易コース		
講師名	金森 尚人		
実務経験 教員紹介	40 年間海外政府機関において通商、マーケティング、観光を専門職として従事。また国内外（タイ、ミャンマー）の大学にて、日本ビジネススタンダードとビジネスマナーを指導。		

講義概要
後期授業はデジタル社会におけるマーケティング戦略を中心に講義を進める。教科書は参考資料とし、消費者の行動、ビジネスモデル、製品戦略、価格戦略、チャネル戦略など、企業のデジタルマーケティングを実践している戦略を解説する。
達成目標
学生がデジタル社会において、スマートフォン等のデジタルデバイスを活用し、様々な理論をもとに論理的に考え、「勝つ確率」を最大限まで高めるための思考法を習得する。
学修成果
マーケティングの知識は人生を大きく変え、生き方の選択肢が広がる。そしてマーケティングを広義に捉えたと、「経営学と商業学」の双方の分野に関連を持つほど社会人として役立つ。

#### 授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	7 限、8 限の復習プレゼン準備
	授業計画	お客が「調べて買う」時代のマーケティングとは ディスカッション		授業計画	プレゼン ZARA、アマゾン、IBM の戦略とは何か
	事後学習	ディスカッションのまとめ		事後学習	ネットにて他企業を調査
2	事前学習	ネットでの買い物経験をまとめる	10	事前学習	配布資料にて予習
	授業計画	プラットフォーム戦略とは何か Google、楽天、アマゾンで解説		授業計画	スポンサーシップ・マーケティング、プロダクト・プレイスメントとは
	事後学習	配布資料で復習		事後学習	課題のプレゼン準備
3	事前学習	メリットとデメリットを事前調査	11	事前学習	10 限のプレゼン準備
	授業計画	ショールーミングの常識とは MUJI、ビックカメラ等で解説		授業計画	個人のライフスタイルに合わせたマーケティングとは
	事後学習	ショールーミングの問題点まとめ		事後学習	配布資料にて復習
4	事前学習	サブスクリプションとの違いを予習	12	事前学習	ネットにて事前調査
	授業計画	フリーミアムビジネスとは DeNA、ミクシー他		授業計画	ダイレクトマーケティングの魅力とは サブスク「し放題」ビジネスとは
	事後学習	配布資料で復習		事後学習	ネットにて成功企業をリストアップ
5	事前学習	ネットにて事前予習 プレゼン準備	13	事前学習	ネットにて関係企業を調査
	授業計画	シェアリングビジネスとは Airbnb、Uber 他		授業計画	12 限のレポート提出 CRM と SDG's の関係と企業戦略
	事後学習	プレゼンのまとめ		事後学習	後期講義のまとめ
6	事前学習	プレゼン準備	14	事前学習	講義のまとめ、期末試験前の準備
	授業計画	オープン戦略とは Facebook(メタバース)、トヨタ、インテル		授業計画	講義のまとめ、期末試験前の準備
	事後学習	オープン戦略のまとめ		事後学習	期末試験の準備
7	事前学習	配布資料で事前予習	15	事前学習	期末試験の準備
	授業計画	ビジネスモデル「カミソリと刃モデル」とは ネスレ、ジレット他		授業計画	期末試験
	事後学習	ネットで他企業を調査		事後学習	試験の振り返り
8	事前学習	配布資料にて予習			
	授業計画	「分割モデル」「会員モデル」とは デアゴスティーニ、コストコ他			
	事後学習	ネットで他企業を調査			

評価方法 出席状況：20% 定期試験：70% <（レポート提出、プレゼン）>：10%

教科書 著者名 平野敦士カール  
 タイトル マーケティング見るだけノート  
 出版社 宝島社

参考書 著者名  
 タイトル 適宜資料配布にて学習  
 出版社

年度	2022 年度	学期	前期
科目名	流通論 I	単位	2 単位
学科コース	国際貿易コース		
講師名	工藤 麻紀子		
実務経験 教員紹介	一部上場企業や自治体のコンサルティング業務（IT、マーケティング、PR）、スタートアップ企業の広報部門の立ち上げに従事。		

講義概要
メーカー、卸売業、小売業、最終消費者という流通経路の基礎を学ぶ。日本の流通のしくみ、小売業の形態、小売業経営の仕組み、卸売業のしくみ、物流のしくみなども学ぶ一方で、日本の小売業の現状に特化し、流通の中で最も身近な小売業の企業についての知識を深める。
達成目標
流通の基本を学ぶと同時に、日本特有の流通（国の流通施策、卸売や物流の現状、小売業の現状、小売業界や企業）に関する知識の獲得を目指す。
学修成果
流通の基礎や小売業の特性を学び、日本商工会議所主催 リテールマーケティング検定 3 級内の「I：小売業の類型」と同程度の知識を身に着けること。

#### 授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	小売業について
	授業計画	オリエンテーション 流通の概要を理解		授業計画	卸売業について 卸売企業の役割・種別について
	事後学習	流通の基礎		事後学習	卸売業について
2	事前学習	流通の基礎	10	事前学習	卸売業について
	授業計画	流通機構の存在意義 流通経路について		授業計画	卸売業について グループワーク企業研究
	事後学習	様々な流通経路		事後学習	卸売業について
3	事前学習	様々な流通経路	11	事前学習	物流について
	授業計画	流通政策 インターネット社会と小売業について		授業計画	物流について 基本機能・役割について
	事後学習	流通政策		事後学習	物流について
4	事前学習	小売業とは	12	事前学習	物流について
	授業計画	小売業の分類について グループワーク発表準備		授業計画	物流について グループワーク小売/ 卸売の物流の研究
	事後学習	課題準備		事後学習	物流の基本
5	事前学習	課題準備	13	事前学習	物流について
	授業計画	小売業の分類について グループワーク発表準備		授業計画	物流について グループワーク小売/ 卸売の物流の研究発表
	事後学習	小売業について		事後学習	物流の基本
6	事前学習	小売業について	14	事前学習	試験勉強
	授業計画	小売業経営について チェーンストア経営について		授業計画	振り返り
	事後学習	小売業について		事後学習	試験勉強
7	事前学習	小売業について	15	事前学習	試験勉強
	授業計画	小売業経営について マーチャンダイジングについて		授業計画	定期試験
	事後学習	マーチャンダイジング		事後学習	試験の振り返り
8	事前学習	小売業について		事前学習	
	授業計画	小売業経営について 価格戦略（EDLP など）について		授業計画	
	事後学習	価格について		事後学習	

評価方法 出席状況：50% 定期試験：40% <（授業態度）>：10%

教科書 著者名 小林 隆一  
 タイトル Visual 流通の基本  
 出版社 日本経済新聞出版社

参考書 著者名  
 タイトル  
 出版社

年度	2022 年度	学期	後期
科目名	流通論Ⅱ	単位	2 単位
学科コース	国際貿易コース		
講師名	工藤 麻紀子		
実務経験 教員紹介	一部上場企業や自治体のコンサルティング業務（IT、マーケティング、PR）、スタートアップ企業の広報部門の立ち上げに従事。		

講義概要
流通論Ⅱでは流通論Ⅰの応用を学ぶ。流通の中でも特に小売業の業務に特化し、リテールマーケティングを学ぶ。商品や品ぞろえに関する「マーチャンダイジング」やマス・マーチャンダイジングとの違い等「マーケティング」を中心に基本的な知識の習得を目指す。
達成目標
流通の基礎の振り返りをしつつ、特に小売業に着目し、品ぞろえに関してや、接客、店舗経営のノウハウを「マーチャンダイジング」「マーケティング」の観点で学ぶ。
学修成果
小売業の特性、接客や取扱商品の知識を学び、「日本商工会議所主催 リテールマーケティング検定 3 級」の知識を身に付けることを目標とする。

#### 授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読
	授業計画	オリエンテーション マーチャンダイジングとは		授業計画	マーケティング 顧客満足経営と顧客維持政策
	事後学習	マーチャンダイジングの定義		事後学習	講義ノート整理
2	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読	10	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読
	授業計画	マーチャンダイジング 商品計画、販売計画		授業計画	マーケティング 商圈設定と立地、出店の基本
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	講義ノート整理
3	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読	11	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読
	授業計画	マーチャンダイジング 仕入計画の基本、発注、物流の基本		授業計画	マーケティング インバウンドに対するプロモーション
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	講義ノート整理
4	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読	12	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読
	授業計画	マーチャンダイジング 価格設定の基本、利益構造		授業計画	マーケティング 売り場の形態と売り場作りの基本
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	講義ノート整理
5	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読	13	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読
	授業計画	マーチャンダイジング 在庫管理の基本と、販売管理の基本		授業計画	マーケティング 照明・光源・色彩の考え方
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	講義ノート整理
6	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読	14	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読
	授業計画	マーチャンダイジング POS システムと活用方法		授業計画	マーケティング振り返り マスマーケティングとの違い
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	試験勉強
7	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読	15	事前学習	試験勉強
	授業計画	マーチャンダイジング振り返り マーチャンダイジングの流れや IT		授業計画	定期試験
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	試験の振り返り
8	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読			
	授業計画	マーケティング マス・マーケティングとの違い			
	事後学習	講義ノート整理			

評価方法 出席状況：40% 定期試験：50% <（授業態度）>：10%

教科書 著者名  
タイトル  
出版社

参考書 著者名  
タイトル  
出版社



年度	2022 年度	学期	前期
科目名	簿記 I	単位	2 単位
学科コース	国際貿易コース		
講師名	高橋 雅巳		
実務経験 教員紹介	証券会社におけるコンサルティング営業及び社会人を対象としたファイナンシャルプランナー資格取得講座の運営		

講義概要
簿記は、企業の経済活動に欠くことのできないものです。大企業から中小企業、個人商店にいたるまで簿記を用いています。また簿記の資格は、ビジネス系の資格においては常に人気ナンバーワンとなっています。この講義では商業簿記の基本についてテキストを中心に講義を進めていきます。
達成目標
簿記の基本を理解し、会社における日常取引および決算の基本的な処理についての知識の習得を目標とします。また、全経簿記能力検定試験 3 級の合格を目標とします。
学修成果
企業における期中取引の基本仕訳、主要簿、補助簿の記入及び作成、決算手続きなど、簿記の基本処理が可能となります。また全経簿記能力検定 3 級に合格することができます。

#### 授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	前回講義のプリントの読み返し
	授業計画	ガイダンス 企業の簿記の意味と目的・種類について		授業計画	有価証券と有形固定資産の取得・売却の仕訳について
	事後学習	該当箇所の基本問題を解く		事後学習	該当箇所の基本問題を解く
2	事前学習	前回講義のプリントの読み返し	10	事前学習	前回講義のプリントの読み返し
	授業計画	資産・負債・純資産・費用・収益と貸借対照表・損益計算書の作成方法		授業計画	株式の発行、各種税金、引出金の仕訳について
	事後学習	該当箇所の基本問題を解く		事後学習	該当箇所の基本問題を解く
3	事前学習	前回講義のプリントの読み返し	11	事前学習	前回講義のプリントの読み返し
	授業計画	仕訳の基本、借方・貸方、勘定科目について		授業計画	決算整理仕訳（売上原価、減価償却費、貸倒引当金）について
	事後学習	該当箇所の基本問題を解く		事後学習	該当箇所の基本問題を解く
4	事前学習	前回講義のプリントの読み返し	12	事前学習	前回講義のプリントの読み返し
	授業計画	総勘定元帳の勘定口座への転記、試算表の作成について		授業計画	決算整理仕訳（消耗品の処理、費用の見越し・繰延べ）、精算表の作成①
	事後学習	該当箇所の基本問題を解く		事後学習	該当箇所の基本問題を解く
5	事前学習	前回講義のプリントの読み返し	13	事前学習	前回講義のプリントの読み返し
	授業計画	3分法、仕入・売上の仕訳、掛取引・返品仕訳について		授業計画	精算表の作成（整理記入欄の記入、P/L・B/S 欄の記入）②
	事後学習	該当箇所の基本問題を解く		事後学習	該当箇所の基本問題を解く
6	事前学習	前回講義のプリントの読み返し	14	事前学習	前回講義のプリントの読み返し
	授業計画	現金と預金の仕訳、当座預金の仕訳、小切手の仕訳について		授業計画	全経簿記 3 級直前対策総まとめ、問題演習、解答解説
	事後学習	該当箇所の基本問題を解く		事後学習	該当箇所の問題演習を再度行う
7	事前学習	前回講義のプリントの読み返し	15	事前学習	定期試験受験のための総復習
	授業計画	手形取引の仕訳（受取手形、支払手形、手形貸付金、手形借入金）		授業計画	定期試験
	事後学習	該当箇所の基本問題を解く		事後学習	試験の振り返り
8	事前学習	前回講義のプリントの読み返し		事前学習	前回講義のプリントの読み返し
	授業計画	その他の債権債務（未収金・未払金、仮払金・仮受金等）の仕訳について		授業計画	
	事後学習	該当箇所の基本問題を解く		事後学習	

評価方法 出席状況：25% 定期試験：50% <（課題・小テスト）>：25%

教科書	著者名	ネットスクール株式会社 桑原知之
	タイトル	全経簿記能力検定試験公式テキスト 3 級
	出版社	ネットスクール出版
参考書	著者名	ネットスクール株式会社 桑原知之
	タイトル	全経簿記能力検定試験公式問題集 3 級
	出版社	ネットスクール出版

年度	2022 年度	学期	後期
科目名	簿記Ⅱ	単位	2 単位
学科コース	国際貿易コース		
講師名	高橋 雅巳		
実務経験 教員紹介	証券会社におけるコンサルティング営業及び社会人を対象としたファイナンシャルプランナー資格取得講座の運営		

講義概要
全経簿記能力検定試験 3 級レベルの商業簿記の復習をしながら、全経簿記能力検定試験 2 級レベルの商業簿記について講義します。特殊商品売買や手形、有価証券、固定資産などの少し複雑な期中取引や、株式や社債の発行、利益処分などの株式会社特有の処理方法、本支店会計の基本について講義します。
達成目標
個人企業及び法人企業の経理担当者または経理補助者として必要な商業簿記に関する知識と実務処理能力を有し、かつ全経簿記能力検定 2 級に合格することを目標とします。
学修成果
小規模な株式会社の経理担当者が必要な経理実務処理（期中の仕訳、勘定口座への転記及び主要簿、補助簿の作成、決算手続きの基本処理）が可能となります。

#### 授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	前回講義のプリントの読み返し
	授業計画	特殊商品売買（未着品、委託販売、委託買付、割賦販売）の取引と仕訳		授業計画	剰余金の配当と損失の処理、欠損てん補の仕訳
	事後学習	該当箇所の基本問題を解く		事後学習	該当箇所の基本問題を解く
2	事前学習	前回講義のプリントの読み返し	10	事前学習	前回講義のプリントの読み返し
	授業計画	3 級手形取引復習、手形の更改、不渡り、為替手形の取引と仕訳		授業計画	3 級決算整理の復習、売上原価の計算、減価償却費、貸倒引当金の処理
	事後学習	該当箇所の基本問題を解く		事後学習	該当箇所の基本問題を解く
3	事前学習	前回講義のプリントの読み返し	11	事前学習	前回講義のプリントの読み返し
	授業計画	荷為替手形の取引、3 級有価証券の復習と有価証券の評価替えの仕訳		授業計画	消耗品、費用収益の見越し繰延べ処理、税金の処理
	事後学習	該当箇所の基本問題を解く		事後学習	該当箇所の基本問題を解く
4	事前学習	前回講義のプリントの読み返し	12	事前学習	前回講義のプリントの読み返し
	授業計画	3 級有形固定資産の復習と有形固定資産の取得・売却、建設仮勘定の仕訳		授業計画	2 級決算整理事項総まとめと精算表の作成
	事後学習	該当箇所の基本問題を解く		事後学習	該当箇所の基本問題を解く
5	事前学習	前回講義のプリントの読み返し	13	事前学習	前回講義のプリントの読み返し
	授業計画	有形固定資産の期中売却の仕訳、繰延資産の仕訳		授業計画	本支店会計と本支店合併財務諸表の作成
	事後学習	該当箇所の基本問題を解く		事後学習	該当箇所の基本問題を解く
6	事前学習	前回講義のプリントの読み返し	14	事前学習	前回講義のプリントの読み返し
	授業計画	3 級引当金復習、貸倒引当金、修繕引当金、商品保証引当金の仕訳		授業計画	全経簿記検定 2 級第 5 問対策
	事後学習	該当箇所の基本問題を解く		事後学習	該当箇所の基本問題を解く
7	事前学習	前回講義のプリントの読み返し	15	事前学習	定期試験受験のための総復習
	授業計画	社債取引の仕訳		授業計画	定期試験
	事後学習	該当箇所の基本問題を解く		事後学習	試験の振り返り
8	事前学習	前回講義のプリントの読み返し			
	授業計画	株式会社の資本構成と株式発行の仕訳			
	事後学習	該当箇所の基本問題を解く			

評価方法 出席状況：25% 定期試験：50% <（課題・小テスト）>：25%

教科書	著者名	ネットスクール株式会社 桑原知之
	タイトル	全経簿記能力検定試験公式テキスト 2 級商業簿記
	出版社	ネットスクール出版
参考書	著者名	ネットスクール株式会社 桑原知之
	タイトル	全経簿記能力検定試験公式問題集 2 級商業簿記
	出版社	ネットスクール出版

年度	2022年度	学期	前期
科目名	プレゼンテーション研究Ⅰ	単位	2単位
学科コース	国際貿易コース		
講師名	高橋 雅巳		
実務経験 教員紹介	証券会社におけるコンサルティング営業及び社会人を対象としたファイナンシャルプランナー資格取得講座の運営		

講義概要	プレゼンテーションの目的、プレゼンテーションの基本構成、実際のプレゼンテーションを行うときの話し方や動作、プレゼンテーションで使用する資料の作成方法の基本など、実際のプレゼンテーションを行うときに必要な基本知識について講義します。
達成目標	プレゼンテーションに必要な基本知識とスキルを習得し、与えられたテーマに沿ってチームでのプレゼンテーションの準備を行い実践することを目標とします。
学修成果	プレゼンテーションの基本概念、基本知識やスキルを学ぶことで、個人及びチームで実際のプレゼンテーションを行うことができるようになります。

#### 授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	事前配布資料に目を通しておく
	授業計画	プレゼンテーションとは何か、プレゼンテーションの目的		授業計画	プレゼンテーション資料作成②（プレゼン内容の資料への落とし込み）
	事後学習	授業内容をプリントを見て復習		事後学習	授業内容をプリントを見て復習
2	事前学習	事前配布資料に目を通しておく	10	事前学習	事前配布資料に目を通しておく
	授業計画	プレゼンテーションの構成要素、聞き手の心理プロセス		授業計画	プレゼンテーション資料作成③（資料作成のルール①）
	事後学習	授業内容をプリントを見て復習		事後学習	授業内容をプリントを見て復習
3	事前学習	事前配布資料に目を通しておく	11	事前学習	事前配布資料に目を通しておく
	授業計画	プレゼンテーションの流れと基本構成（ホールパート法、PREP法）		授業計画	プレゼンテーション資料作成④（資料作成のルール②）
	事後学習	授業内容をプリントを見て復習		事後学習	授業内容をプリントを見て復習
4	事前学習	事前配布資料に目を通しておく	12	事前学習	事前配布資料に目を通しておく
	授業計画	ホールパート法をベースにしたプレゼンの基本構成		授業計画	プレゼンテーション実践演習③（例題テーマによる基本構成立案）
	事後学習	授業内容をプリントを見て復習		事後学習	授業内容をプリントを見て復習
5	事前学習	事前配布資料に目を通しておく	13	事前学習	事前配布資料に目を通しておく
	授業計画	プレゼンテーションの基本構成の実践演習①（例題による実践演習）		授業計画	プレゼンテーション実践演習④（例題テーマによる資料作成）
	事後学習	授業内容をプリントを見て復習		事後学習	授業内容をプリントを見て復習
6	事前学習	事前配布資料に目を通しておく	14	事前学習	事前配布資料に目を通しておく
	授業計画	プレゼンテーションの際の姿勢、立ち位置、話し方、言葉の選び方		授業計画	総まとめ講義（プレゼンの目的、基本構成等の再確認）
	事後学習	授業内容をプリントを見て復習		事後学習	授業内容をプリントを見て復習
7	事前学習	事前配布資料に目を通しておく	15	事前学習	定期試験受験のための総復習
	授業計画	プレゼンテーション実践演習②（話し方の実践演習）		授業計画	定期試験
	事後学習	授業内容をプリントを見て復習		事後学習	試験の振り返り
8	事前学習	事前配布資料に目を通しておく		事前学習	事前配布資料に目を通しておく
	授業計画	プレゼンテーション資料作成①（パワーポイントの基本操作）		授業計画	プレゼンテーション資料作成①（パワーポイントの基本操作）
	事後学習	授業内容をプリントを見て復習		事後学習	授業内容をプリントを見て復習

評価方法 出席状況：30% 定期試験：40% <（課題・小テスト）>：30%

教科書 著者名 講義において適宜資料プリントを配布する

タイトル

出版社

参考書

著者名

タイトル

出版社

年度	2022 年度	学期	後期
科目名	プレゼンテーション研究Ⅱ	単位	2 単位
学科コース	国際貿易コース		
講師名	高橋 雅巳		
実務経験 教員紹介	証券会社におけるコンサルティング営業及び社会人を対象としたファイナンシャルプランナー資格取得講座の運営		

講義概要
与えられたテーマに基づいて、「現状」「問題点」「解決策」をグループワークで話し合いを行い、パワーポイントにまとめて発表する、一連のプレゼンテーションの企画、準備、発表を行います。また、発表全体の改善点を指摘し、更に効果的なプレゼンができるよう講義します。
達成目標
グループで資料作成・内容の討議・発表を行うことで、プレゼンスキルの大幅アップを目標とします。また更なる改善を行うことで、より効果的にプレゼンができることを目標とします。
学修成果
より効果的なプレゼンスキルを身につけることで、2 年次における進路活動（就活時の面接試験の対応、グループディスカッション等）や卒業後のビジネスの実践で効果を発揮します。

#### 授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	発表準備
	授業計画	ケーススタディから学ぶ① (PP 資料作成①)		授業計画	ケーススタディから学ぶ② (グループ発表①)
	事後学習	PC を利用した資料作成		事後学習	提出用レポートの作成
2	事前学習	グループ内の役割における事前準備	10	事前学習	発表準備
	授業計画	ケーススタディから学ぶ① (PP 資料作成②)		授業計画	ケーススタディから学ぶ② (グループ発表②)
	事後学習	PC を利用した資料作成		事後学習	提出用レポートの作成
3	事前学習	発表準備	11	事前学習	改善作業準備
	授業計画	ケーススタディから学ぶ① (グループ発表①)		授業計画	各グループの発表の評価及び改善点の指摘③
	事後学習	提出用レポートの作成		事後学習	PP 資料の改善作業
4	事前学習	発表準備	12	事前学習	改善作業準備
	授業計画	ケーススタディから学ぶ① (グループ発表②)		授業計画	各グループの発表の評価及び改善点の指摘④
	事後学習	提出用レポートの作成		事後学習	PP 資料の改善作業
5	事前学習	改善作業準備	13	事前学習	発表準備
	授業計画	各グループの発表の評価及び改善点の指摘①		授業計画	前回講義時に指摘された改善を反映したグループ発表①
	事後学習	PP 資料の改善作業		事後学習	提出用レポートの作成
6	事前学習	改善作業準備	14	事前学習	発表準備
	授業計画	各グループの発表の評価及び改善点の指摘②		授業計画	前回講義時に指摘された改善を反映したグループ発表②
	事後学習	PP 資料の改善作業		事後学習	提出用レポートの作成
7	事前学習	2 回目ケーススタディの準備	15	事前学習	定期試験受験準備
	授業計画	ケーススタディから学ぶ② (PP 資料作成①)		授業計画	定期試験実施
	事後学習	PC を利用した資料作成		事後学習	試験の振り返り
8	事前学習	グループ内の役割における事前準備			
	授業計画	ケーススタディから学ぶ② (PP 資料作成②)			
	事後学習	PC を利用した資料作成			

評価方法 出席状況：30% 定期試験：40% < (課題・小テスト) >：30%

教科書 著者名 講義において適宜資料プリントを配布する

タイトル

出版社

参考書

著者名

タイトル

出版社

年度	2022 年度	学期	前期
科目名	国際関係論 I	単位	2 単位
学科コース	国際貿易コース		
講師名	伊藤 憲彦		
実務経験 教員紹介	自動車販売会社での法人営業・個人営業、学習塾での学習指導および経営・管理者・個人営業、私立中学・高校での学習指導および生徒・進路指導		

講義概要
これからのグローバル社会で活躍するためには、世界の政治・経済・社会問題にしっかりと目を向け、自分たちで解決策を提示して、実行していかなければならない。本講義では、国際的な諸問題の中から最低限身に付けておくべき知識を学び、それらの解決策を自分なりに提示できるようにしていく。
達成目標
国際的な問題の知識を学んだうえで、その中から「問題発見・問題分析・問題解決」を行えるようにしていく。また、課題提案力を身に付け、自分の意見を相手に伝えられるようにする。
学修成果
世界の政治・経済・社会問題を理解することができる。そこから、ビジネスに生かすための知識を身に付け、社会常識として世界のできごとを面接等で話すことができる。

#### 授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	前回の復習
	授業計画	オリエンテーション・先進国と発展途上国		授業計画	資源・エネルギー問題②
	事後学習	授業内容をノートを見て復習		事後学習	授業内容をノートを見て復習
2	事前学習	前回の復習	10	事前学習	前回の復習
	授業計画	新興国の発展		授業計画	世界の環境問題①
	事後学習	授業内容をノートを見て復習		事後学習	授業内容をノートを見て復習
3	事前学習	前回の復習	11	事前学習	前回の復習
	授業計画	資本主義と社会主義		授業計画	世界の環境問題②
	事後学習	授業内容をノートを見て復習		事後学習	授業内容をノートを見て復習
4	事前学習	前回の復習	12	事前学習	前回の復習
	授業計画	人口爆発①		授業計画	世界の環境問題③
	事後学習	授業内容をノートを見て復習		事後学習	授業内容をノートを見て復習
5	事前学習	前回の復習	13	事前学習	今までの総復習
	授業計画	人口爆発②		授業計画	試験前対策①
	事後学習	授業内容をノートを見て復習		事後学習	試験準備
6	事前学習	前回の復習	14	事前学習	今までの総復習
	授業計画	食糧問題①		授業計画	試験前対策②
	事後学習	授業内容をノートを見て復習		事後学習	試験準備
7	事前学習	前回の復習	15	事前学習	試験準備
	授業計画	食糧問題②		授業計画	定期試験
	事後学習	授業内容をノートを見て復習		事後学習	試験の振り返り
8	事前学習	前回の復習			
	授業計画	資源・エネルギー問題①			
	事後学習	授業内容をノートを見て復習			

評価方法 出席状況：30% 定期試験：40% < (課題・小テスト) >：30%

教科書 著者名  
タイトル 資料を随時配布  
出版社

参考書 著者名  
タイトル 特になし  
出版社

年度	2022年度	学期	後期
科目名	国際関係論Ⅱ	単位	2単位
学科コース	国際貿易コース		
講師名	伊藤 憲彦		
実務経験 教員紹介	自動車販売会社での法人営業・個人営業、学習塾での学習指導および経営・管理者・個人営業、私立中学・高校での学習指導および生徒・進路指導		

講義概要
前期に学んだことを踏まえ、日本と世界を比較した際に、どのような違いがあるのかということ考察していく。また、日本がどのように世界と関わりを持ち、どのように発展してきたのかを、世界の国・地域との関係性を見ながら学んでいく。モデルケースも用いながら、グローバルな視点で物事を考えられるようにしていく。
達成目標
国際的な問題の知識を学んだうえで、その中から「問題発見・問題分析・問題解決」を行えるようにしていく。また、課題提案力を身に付け、自分の意見を相手に伝えられるようにする。
学修成果
世界の政治・経済・社会問題を理解することができる。そこから、ビジネスに生かすための知識を身に付け、社会常識として世界のできごとを面接等で話すことができる。

#### 授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	事前配布資料に目を通しておく
	授業計画	オリエンテーション・日本と世界の関係を多角的視点で捉え考える①		授業計画	日本企業と世界企業を比較し、それぞれのちがいを考察する
	事後学習	授業内容をプリントを見て復習		事後学習	授業内容をプリントを見て復習
2	事前学習	事前配布資料に目を通しておく	10	事前学習	事前配布資料に目を通しておく
	授業計画	日本と世界の関係を多角的視点で捉え考える②		授業計画	世界が一つになるために、私たちが行うこと
	事後学習	授業内容をプリントを見て復習		事後学習	授業内容をプリントを見て復習
3	事前学習	事前配布資料に目を通しておく	11	事前学習	事前配布資料に目を通しておく
	授業計画	日本と世界の関係を多角的視点で捉え考える③		授業計画	SDGsとは①
	事後学習	授業内容をプリントを見て復習		事後学習	授業内容をプリントを見て復習
4	事前学習	事前配布資料に目を通しておく	12	事前学習	事前配布資料に目を通しておく
	授業計画	世界から見た日本はどのように映るのかを考える①		授業計画	SDGsとは②
	事後学習	授業内容をプリントを見て復習		事後学習	授業内容をプリントを見て復習
5	事前学習	事前配布資料に目を通しておく	13	事前学習	今までの総復習
	授業計画	世界から見た日本はどのように映るのかを考える②		授業計画	試験前対策①
	事後学習	授業内容をプリントを見て復習		事後学習	試験準備
6	事前学習	事前配布資料に目を通しておく	14	事前学習	今までの総復習
	授業計画	世界から見た日本はどのように映るのかを考える③		授業計画	試験前対策②
	事後学習	授業内容をプリントを見て復習		事後学習	試験準備
7	事前学習	事前配布資料に目を通しておく	15	事前学習	試験準備
	授業計画	(モデルケース)日本企業が世界に与える働きを考察する①		授業計画	期末試験
	事後学習	授業内容をプリントを見て復習		事後学習	試験の振り返り
8	事前学習	事前配布資料に目を通しておく		事前学習	試験準備
	授業計画	(モデルケース)日本企業が世界に与える働きを考察する②		授業計画	期末試験
	事後学習	授業内容をプリントを見て復習		事後学習	試験の振り返り

評価方法 出席状況：30% 定期試験：40% <(レポート)>：30%

教科書 著者名  
タイトル 資料を随時配布  
出版社  
参考書 著者名  
タイトル 特になし  
出版社

年度	2022 年度	学期	前期
科目名	経済学 I	単位	2 単位
学科コース	国際貿易コース		
講師名	町 隆美		
実務経験 教員紹介	印刷会社の営業		

講義概要
経済理論の基礎であるミクロ経済を学びます。ミクロとは家計・企業に注目したものであり、家計とは個人です。ミクロ経済理論が実際の生活でも生かされていることを学習していきます。講義形式の座学が中心ですが、グループディスカッションも行い、発話力も身に付けます。
達成目標
下記内容が理解できるようになる ・なぜ個人はこのような経済行動を取るのか ・なぜ企業はこのような経済行動を取るのか
学修成果
個人の経済活動の理由、企業の経済活動の理由が分かることで、自身の経済行動を見直すことができる。さらに、卒業後、入社する企業における理解を深められる

#### 授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	事前配布用の用語を調べる
	授業計画	オリエンテーション 授業ルール、授業の目的の確認、経済学とは		授業計画	市場の均衡・完全競争市場・生産者余剰・消費者余剰
	事後学習	ノートをまとめる		事後学習	教科書の該当ページを復習
2	事前学習	事前配布用の用語を調べる	10	事前学習	事前配布用の用語を調べる
	授業計画	希少性、費用、トレードオフ、機会費用		授業計画	価格調整（アダム・スミス）・パレート最適
	事後学習	教科書の該当ページを復習		事後学習	教科書の該当ページを復習
3	事前学習	事前配布用の用語を調べる	11	事前学習	事前配布用の用語を調べる
	授業計画	需要曲線・供給曲線・価格の決定		授業計画	寡占市場（同質財・差別財）・独占企業
	事後学習	教科書の該当ページを復習		事後学習	教科書の該当ページを復習
4	事前学習	事前配布用の用語を調べる	12	事前学習	事前配布用の用語を調べる
	授業計画	家計の目的：限界効用、限界コスト、限界効用逓減		授業計画	ゲーム理論（囚人のジレンマ）・ナッシュ均衡
	事後学習	教科書の該当ページを復習		事後学習	教科書の該当ページを復習
5	事前学習	事前配布用の用語を調べる	13	事前学習	事前配布用の用語を調べる
	授業計画	所得効果、代替効果、財・サービスの種類（上級財、補完財等）		授業計画	市場の失敗・外部性・公共財
	事後学習	教科書の該当ページを復習		事後学習	教科書の該当ページを復習
6	事前学習	事前配布用の用語を調べる	14	事前学習	事前配布用の用語を調べる
	授業計画	企業の目的・生産関数・費用曲線		授業計画	総復習
	事後学習	教科書の該当ページを復習		事後学習	教科書の該当ページを復習
7	事前学習	事前配布用の用語を調べる	15	事前学習	全講義の復習
	授業計画	利潤最大化・限界費用・限界収入		授業計画	期末試験
	事後学習	教科書の該当ページを復習		事後学習	試験の振り返り
8	事前学習	事前配布用の用語を調べる			
	授業計画	需要弾力性・供給弾力性／中間テスト			
	事後学習	教科書の該当ページを復習			

評価方法 出席状況：20% 定期試験：40% <（小テスト・課題）>：40%

教科書	著者名	木暮 太一
	タイトル	経済学見るだけノート
	出版社	宝島社
参考書	著者名	早稲田大学商学部ビジネス・エコノミクス
	タイトル	入門ビジネス・エコノミクス
	出版社	中央経済社

年度	2022 年度	学期	後期
科目名	経済学Ⅱ	単位	2 単位
学科コース	国際貿易コース		
講師名	町 隆美		
実務経験 教員紹介	印刷会社の営業		

講義概要
経済学Ⅱではマクロ経済について学ぶ。マクロ経済とは物価、インフレ、失業率、GDP、経済成長率などの大きな経済の動きに注目します。マクロ経済は私たちの生活に密着していることを理解し、社会に出ても困らない知識を身に付けます。
達成目標
経済学の基礎理論の理解、世界経済史の理解を通じて、経済の変化がビジネスに与える影響を読み解けるようになる。そして、世界の経済時流を理解できるようになる。
学修成果
経済指標を理解し、その指標が自分の生活に影響していることが実感できるようになること。そして、将来のビジネスに活かせるようになる。

#### 授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	事前配布の語彙を調べておく
	授業計画	ミクロ経済学の復習 マクロ経済学とは何か。		授業計画	マクロ経済で見る戦後日本経済史③ バブル崩壊以降
	事後学習	テキストの該当箇所を読む		事後学習	テキストの該当箇所を読む
2	事前学習	事前配布の語彙を調べておく	10	事前学習	テスト勉強
	授業計画	GDP・三面等価の原則・ケインズ経済学		授業計画	中間テスト
	事後学習	テキストの該当箇所を読む		事後学習	復習
3	事前学習	事前配布の語彙を調べておく	11	事前学習	事前配布の語彙を調べておく
	授業計画	有効需要の原理・IS-LM モデルについて		授業計画	国際経済①貿易・WTO・経済統合
	事後学習	テキストの該当箇所を読む		事後学習	テキストの該当箇所を読む
4	事前学習	事前配布の語彙を調べておく	12	事前学習	事前配布の語彙を調べておく
	授業計画	家計の消費・企業の投資・政府の役割		授業計画	国際経済②貿易・比較優位
	事後学習	テキストの該当箇所を読む		事後学習	テキストの該当箇所を読む
5	事前学習	事前配布の語彙を調べておく	13	事前学習	事前配布の語彙を調べておく
	授業計画	景気と失業・インフレとデフレ		授業計画	国際経済③為替・景気変動
	事後学習	テキストの該当箇所を読む		事後学習	テキストの該当箇所を読む
6	事前学習	事前配布の語彙を調べておく	14	事前学習	事前配布の語彙を調べておく
	授業計画	金融（貨幣とは・日本銀行・公定歩合）		授業計画	ビジネスと経済の未来（経済と環境・地球と国際協力）
	事後学習	テキストの該当箇所を読む		事後学習	テキストの該当箇所を読む
7	事前学習	事前配布の語彙を調べておく	15	事前学習	テスト勉強
	授業計画	マクロ経済で見る戦後日本経済史① ～高度経済成長期		授業計画	期末試験
	事後学習	テキストの該当箇所を読む		事後学習	試験の振り返り
8	事前学習	事前配布の語彙を調べておく			
	授業計画	マクロ経済で見る戦後日本経済史② 高度経済成長～バブル崩壊			
	事後学習	テキストの該当箇所を読む			

評価方法 出席状況：20% 定期試験：40% <（小テスト・課題）>：40%

教科書	著者名	木暮 太一
	タイトル	経済学見るだけノート
	出版社	宝島社
参考書	著者名	早稲田大学商学部ビジネス・エコノミクス
	タイトル	入門ビジネス・エコノミクス
	出版社	中央経済社



年度	2022年度	学期	前期
科目名	外食産業論	単位	2単位
学科コース	国際貿易コース		
講師名	高橋 雅巳		
実務経験 教員紹介	証券会社におけるコンサルティング営業及び社会人を対象としたファイナンシャルプランナー資格取得講座の運営		

講義概要
少子高齢化による市場規模の伸び悩み及びコロナ禍という厳しい状況における日本の外食産業の現状と将来について講義します。また、外食産業をカテゴリー別にとらえ、各カテゴリーの主要な企業、チェーン店の経営戦略と最新動向、今後の展望についてケーススタディを中心に学びます。
達成目標
外食産業全体の現状と今後の展望を総合的に理解し、業界のカテゴリーごとの特徴や具体的な企業、業態展開を体系的に整理、理解することを目標とします。
学修成果
外食産業を展開する企業についてのケーススタディを行いながら、外食企業の代表的な経営戦略を学び、外食業界への就職希望者の就活の成功に繋がります。

#### 授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	配布プリントの該当箇所通読
	授業計画	外食とは何か 外食・中食・内食の定義と概要		授業計画	カフェ業界ケーススタディ：ドトール、スターバックス、コマダ珈琲店等
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	受講後のノート整理
2	事前学習	配布プリントの該当箇所通読	10	事前学習	配布プリントの該当箇所通読
	授業計画	日本の外食産業の歴史① すかいらーく、マクドナルド、吉野家等の誕生		授業計画	外食業界研究④ 麺、肉等の専門業態の概要と最新動向
	事後学習	受講後のノート整理		事後学習	受講後のノート整理
3	事前学習	配布プリントの該当箇所通読	11	事前学習	配布プリントの該当箇所通読
	授業計画	日本の外食産業の歴史② バブル経済崩壊後の外食産業		授業計画	麺、肉等業態ケーススタディ：日高屋、物語コーポレーション等
	事後学習	受講後のノート整理		事後学習	受講後のノート整理
4	事前学習	配布プリントの該当箇所通読	12	事前学習	配布プリントの該当箇所通読
	授業計画	外食業界研究① ファーストフード業界の概要と最新動向		授業計画	外食業界研究⑤ 回転寿司、居酒屋業界の概要と最新動向
	事後学習	受講後のノート整理		事後学習	受講後のノート整理
5	事前学習	配布プリントの該当箇所通読	13	事前学習	配布プリントの該当箇所通読
	授業計画	ファーストフード業界ケーススタディ：マクドナルド、すき家等		授業計画	回転寿司、居酒屋業界ケーススタディ：スシロー、大手居酒屋チェーン等
	事後学習	受講後のノート整理		事後学習	受講後のノート整理
6	事前学習	配布プリントの該当箇所通読	14	事前学習	配布プリントの該当箇所通読
	授業計画	外食業界研究② ファミリーレストラン業界の概要と最新動向		授業計画	最新の外食産業の動向と問題点、グローバル展開等について
	事後学習	受講後のノート整理		事後学習	受講後のノート整理
7	事前学習	配布プリントの該当箇所通読	15	事前学習	定期試験受験のための総復習
	授業計画	ファミレス業界ケーススタディ：サイゼリヤ、すかいらーく HD 等		授業計画	定期試験実施
	事後学習	受講後のノート整理		事後学習	試験の振り返り
8	事前学習	配布プリントの該当箇所通読		事前学習	配布プリントの該当箇所通読
	授業計画	外食業界研究③ カフェ業界の概要と最新動向		授業計画	最新の外食産業の動向と問題点、グローバル展開等について
	事後学習	受講後のノート整理		事後学習	受講後のノート整理

評価方法 出席状況：25% 定期試験：50% < (課題・小テスト) >：25%

教科書 著者名 講義において適宜資料プリントを配布する

タイトル

出版社

参考書

著者名

タイトル

出版社

東洋経済新報社編  
「会社四季報」業界地図 2022年版  
東洋経済新報社

年度	2022年度	学期	前期
科目名	ビジネス英語 I	単位	2単位
学科コース	国際貿易コース		
講師名	高谷 俊祐		
実務経験 教員紹介	IT企業勤務：日系メガバンク出向（海外出張：マレーシア・インド） 英会話学校：教務主任・東日本エリアリーダー主任		

講義概要
この講義では、自身の出身地や家族、趣味、また学校での活動と言ったような、比較的簡易なトピックについて英語で話せるようになるよう講義を行う。授業は全て英語で行い、英語での発話に必要な基本的な語彙や文法、また発音についても確認をする。
達成目標
英語を話したいが苦手である、また基礎的な語彙力や文法知識に乏しく、英語で話す事に自信が無いと言う学生も、失敗を恐れずに発話する事を目標とする。
学修成果
日常的な会話に必要な語彙や、Wh 疑問文や基本時制と言われる、現在形、過去形、未来形について基本的な型を理解し、自分自身の言葉として発話出来るようになる。

#### 授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	文法事項復習及び会話文音読
	授業計画	講義ガイダンス Classroom English について紹介		授業計画	②Unit3 Come in
	事後学習	上記内容について復習		事後学習	文法事項復習及び会話文音読
2	事前学習	クラス英語復習	10	事前学習	文法事項復習及び会話文音読
	授業計画	①Unit1 I am ...		授業計画	③Unit3 Come in
	事後学習	文法事項復習及び会話文音読		事後学習	文法事項復習及び会話文音読
3	事前学習	文法事項復習及び会話文音読	11	事前学習	文法事項復習及び会話文音読
	授業計画	②Unit1 I am ...		授業計画	①Unit4 I love it
	事後学習	文法事項復習及び会話文音読		事後学習	文法事項復習及び会話文音読
4	事前学習	文法事項復習及び会話文音読	12	事前学習	文法事項復習及び会話文音読
	授業計画	③Unit1 I am ...		授業計画	①Unit4 I love it
	事後学習	文法事項復習及び会話文音読		事後学習	0
5	事前学習	文法事項復習及び会話文音読	13	事前学習	文法事項復習及び会話文音読
	授業計画	①Unit2 Greeting People		授業計画	①Unit4 I love it
	事後学習	文法事項復習及び会話文音読		事後学習	文法事項復習及び会話文音読
6	事前学習	文法事項復習及び会話文音読	14	事前学習	文法事項復習及び会話文音読
	授業計画	②Unit2 Greeting People		授業計画	復習：Unit1-Unit4
	事後学習	文法事項復習及び会話文音読		事後学習	期末試験の準備
7	事前学習	文法事項復習及び会話文音読	15	事前学習	期末試験の準備
	授業計画	③Unit2 Greeting People		授業計画	期末試験
	事後学習	文法事項復習及び会話文音読		事後学習	試験の振り返り
8	事前学習	文法事項復習及び会話文音読			
	授業計画	①Unit3 Come in			
	事後学習	文法事項復習及び会話文音読			

評価方法 出席状況：40% 定期試験：60%  
 教科書 著者名 Amanda French, Craig Thaine, and Alex Tilbury  
 タイトル EVOLVE 1  
 出版社 CAMBRIDGE UNIVERSIRY PRESS  
 参考書 著者名  
 タイトル  
 出版社

年度	2022 年度	学期	後期
科目名	ビジネス英語Ⅱ	単位	2 単位
学科コース	国際貿易コース		
講師名	高谷 俊祐		
実務経験 教員紹介	IT 企業勤務：日系メガバンク出向（海外出張：マレーシア・インド） 英会話学校：教務主任・東日本エリアリーダー主任		

講義概要
この講義では、自身の出身地や家族、趣味、また学校での活動と言ったような、比較的簡易なトピックについて英語で話せるようになるよう講義を行う。授業は全て英語で行い、英語での発話に必要な基本的な語彙や文法、また発音についても確認をする。
達成目標
英語を話したいが苦手である、また基礎的な語彙力や文法知識に乏しく、英語で話す事に自信が無いと言う学生も、失敗を恐れずに発話する事を目標とする。
学修成果
日常的な会話に必要な語彙や、Wh 疑問文や基本時制と言われる、現在形、過去形、未来形について基本的な型を理解し、自分自身の言葉として発話出来るようになる。

#### 授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	文法事項復習及び会話文音読
	授業計画	①Unit5 Mondays and fun days		授業計画	①Unit9 Places to go
	事後学習	文法事項復習及び会話文音読		事後学習	文法事項復習及び会話文音読
2	事前学習	文法事項復習及び会話文音読	10	事前学習	文法事項復習及び会話文音読
	授業計画	②Unit5 Mondays and fun days		授業計画	②Unit9 Places to go
	事後学習	文法事項復習及び会話文音読		事後学習	文法事項復習及び会話文音読
3	事前学習	文法事項復習及び会話文音読	11	事前学習	文法事項復習及び会話文音読
	授業計画	①Unit6 Zoom in, zoom out		授業計画	①Unit10 Get ready You're good!
	事後学習	文法事項復習及び会話文音読		事後学習	文法事項復習及び会話文音読
4	事前学習	文法事項復習及び会話文音読	12	事前学習	文法事項復習及び会話文音読
	授業計画	②Unit6 Zoom in, zoom out		授業計画	②Unit10 Get ready You're good!
	事後学習	文法事項復習及び会話文音読		事後学習	文法事項復習及び会話文音読
5	事前学習	文法事項復習及び会話文音読	13	事前学習	文法事項復習及び会話文音読
	授業計画	①Unit7 Now is good		授業計画	①Unit11 Colorful memories
	事後学習	文法事項復習及び会話文音読		事後学習	文法事項復習及び会話文音読
6	事前学習	文法事項復習及び会話文音読	14	事前学習	文法事項復習及び会話文音読
	授業計画	②Unit7 Now is good		授業計画	②Unit11 Colorful memories
	事後学習	文法事項復習及び会話文音読		事後学習	期末試験の準備
7	事前学習	文法事項復習及び会話文音読	15	事前学習	期末試験の準備
	授業計画	①Unit8 You're good!		授業計画	期末試験
	事後学習	文法事項復習及び会話文音読		事後学習	試験の振り返り
8	事前学習	文法事項復習及び会話文音読			
	授業計画	②Unit8 You're good!			
	事後学習	文法事項復習及び会話文音読			

評価方法 出席状況：40% 定期試験：60%

教科書 著者名 Amanda French, Craig Thaine, and Alex Tilbury  
 タイトル EVOLVE 1  
 出版社 CAMBRIDGE UNIVERSIRY PRESS

参考書 著者名  
 タイトル  
 出版社

年度	2022 年度	学期	前期
科目名	外国語演習 I	単位	2 単位
学科コース	国際貿易コース		
講師名	菰田 有香		
実務経験 教員紹介	ブライダル業界にてジュエリー販売接客及び結婚式場への法人営業。 コールセンターでの店舗スタッフ対応。		

講義概要
日本語力を「中級」から「上級」へ引き上げることを目的とし、日本にいれば経験する可能性が高い内容、また、経験してみたいくなるような言語活動をテーマとした教材を使用し自然な日本語を使えるようにする。また、JLPT 直近の時期には直前対策授業とし練習問題及び解説を入れていく。
達成目標
自然な日本語を身につけ、日常的に会話や発表、今後の就職活動に活かせる表現力を身につける。また、日本語能力試験に向けて直前対策として N2 合格を目指し不足部分を補う。
学修成果
文レベルで日本語を理解し話すのではなく、談話レベルの発話の表現や理解ができるようになり、複雑なコミュニケーションが行えるようになる。

#### 授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	読解問題
	授業計画	・講義の説明 ・自分についての発表 (指定テーマあり)		授業計画	日本語能力試験対策テスト・解説 (読解)
	事後学習	語彙の確認		事後学習	復習
2	事前学習	語彙の確認	10	事前学習	語彙・文法復習
	授業計画	ユニット 1 (自己紹介と本当の自分 ①)		授業計画	日本語能力試験対策テスト・解説 (聴解)
	事後学習	重要表現例文作成		事後学習	復習
3	事前学習	語彙の確認	11	事前学習	復習
	授業計画	ユニット 1 (自己紹介と本当の自分 ②)		授業計画	日本語能力試験対策テスト・解説 (総合)
	事後学習	文法・語彙練習問題		事後学習	復習
4	事前学習	語彙の確認	12	事前学習	語彙の確認
	授業計画	ユニット 1 (自己紹介と本当の自分 ③)		授業計画	ユニット 3 (ジェンダーを考える①)
	事後学習	復習		事後学習	重要表現例文作成
5	事前学習	語彙の確認	13	事前学習	語彙の確認
	授業計画	ユニット 2 (若者の自己評価①)		授業計画	ユニット 3 (ジェンダーを考える②)
	事後学習	重要表現例文作成		事後学習	文法・語彙練習問題
6	事前学習	語彙の確認	14	事前学習	語彙の確認
	授業計画	ユニット 2 (若者の自己評価②)		授業計画	ユニット 3 (ジェンダーを考える③)
	事後学習	文法・語彙練習問題		事後学習	文法・語彙練習問題
7	事前学習	語彙の確認	15	事前学習	復習・試験準備
	授業計画	ユニット 2 (若者の自己評価③)		授業計画	期末試験
	事後学習	復習		事後学習	試験の振り返り
8	事前学習	なし			
	授業計画	日本語能力試験対策テスト・解説 (文字語彙・文法)			
	事後学習	復習			

評価方法 出席状況：20% 定期試験：70% < ( 平常点 ) >：10%

教科書 著者名 鎌田修、ボイクマン総子、富山佳子、山本真知子  
タイトル 新 中級から上級への日本語  
出版社 the japan times

参考書 著者名  
タイトル  
出版社

年度	2022年度	学期	後期
科目名	外国語演習Ⅱ	単位	2単位
学科コース	国際貿易コース		
講師名	菰田 有香		
実務経験 教員紹介	ブライダル業界にてジュエリー販売接客及び結婚式場への法人営業。 コールセンターでの店舗スタッフ対応。		

講義概要
日本語力を「中級」から「上級」へ引き上げることを目的とし、日本にいれば経験する可能性が高い内容、また、経験してみたいような言語活動をテーマとした教材を使用し自然な日本語を使えるようにする。また、JLPT 直近の時期には直前対策授業とし練習問題及び解説を入れていく。
達成目標
自然な日本語を身につけ、日常的に会話や発表、今後の就職活動に活かせる表現力を身につける。また、日本語能力試験に向けて直前対策として N2 合格を目指し不足部分を補う。
学修成果
文レベルで日本語を理解し話すのではなく、談話レベルの発話の表現や理解ができるようになり、複雑なコミュニケーションが行えるようになる。

#### 授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	語彙・文法復習
	授業計画	ユニット4（ことばと文化①）		授業計画	日本語能力試験対策テスト N2・解説（聴解）
	事後学習	復習		事後学習	復習
2	事前学習	語彙の確認	10	事前学習	復習
	授業計画	ユニット4（ことばと文化②）		授業計画	日本語能力試験対策テスト N2・解説（総合）
	事後学習	重要表現例文作成		事後学習	復習
3	事前学習	語彙の確認	11	事前学習	語彙の確認
	授業計画	ユニット4（ことばと文化③）		授業計画	ユニット6（働くということ①）
	事後学習	文法・語彙練習問題		事後学習	重要表現例文作成
4	事前学習	語彙の確認	12	事前学習	語彙の確認
	授業計画	ユニット5（心と体のバランス①）		授業計画	ユニット6（働くということ②）
	事後学習	重要表現例文作成		事後学習	文法・語彙練習問題
5	事前学習	語彙の確認	13	事前学習	語彙の確認
	授業計画	ユニット5（心と体のバランス②）		授業計画	ユニット6（働くということ③）
	事後学習	重要表現例文作成		事後学習	文法・語彙練習問題
6	事前学習	語彙の確認	14	事前学習	語彙の確認
	授業計画	ユニット5（心と体のバランス③）		授業計画	ユニット7（日本語の多様性）
	事後学習	文法・語彙練習問題		事後学習	文法・語彙練習問題
7	事前学習	日本語能力試験の勉強	15	事前学習	復習・試験準備
	授業計画	日本語能力試験対策テスト N2・解説（文字語彙・文法）		授業計画	期末試験
	事後学習	復習		事後学習	試験の振り返り
8	事前学習	読解問題			
	授業計画	日本語能力試験対策テスト N2・解説（読解）			
	事後学習	復習			

評価方法 出席状況：20% 定期試験：70% <（平常点）>：10%

教科書 著者名 鎌田修、ボイクマン総子、富山佳子、山本真知子  
 タイトル 新 中級から上級への日本語  
 出版社 the japan times

参考書 著者名  
 タイトル  
 出版社

年度	2022 年度	学期	前期
科目名	ビジネスマナー I	単位	2 単位
学科コース	国際貿易コース		
講師名	井上 由美子		
実務経験 教員紹介	アナウンサー歴 38 年 イメージコンサルタント歴 16 年 話し方指導 17 年 ビジネスマナー講師 歴 11 年		

講義概要
ビジネスシーンでの身だしなみや、最低限守るべきマナー・ルールを学ぶ。学生と社会人の違いを意識し、日本社会で信頼され活躍出来る人材育成を行う。また多国籍集団の中で、良好な人間関係を築くための対面及びオンラインコミュニケーションを学び、日常生活でも実践できるよう指導する。
達成目標
ビジネススーツを正しく着こなす。好印象の挨拶・お辞儀などの基本動作が出来る。就業マナーや会社組織、敬語の使い分け、電話対応の基本知識を理解し実践する。
学修成果
ビジネスマナーの基礎を学習することで、相手に対して敬意を表す様々な方法を身につけ実践できるようになる。目上の相手に対して失礼のない態度をとれるようになる。

#### 授業計画

1	事前学習	ビジネススーツを準備する	9	事前学習	他国出身の友達を 5 人紹介準備
	授業計画	講義ガイダンス 学習目的を理解し目標を立てる		授業計画	指示の受け方 報告・連絡・相談 6 W4H
	事後学習	3 か月後の姿を言語化する		事後学習	自己紹介メモ提出前整備
2	事前学習	自己紹介の内容となる材料を集める	10	事前学習	敬語置き換え一覧表印刷
	授業計画	未来を意識した「自己紹介」の考え方と準備方法		授業計画	ビジネス会話の基本 敬語の種類と動詞の置き換え一覧表作成
	事後学習	「自己紹介」の準備をする		事後学習	敬語置き換え一覧表を覚える
3	事前学習	自己紹介を声に出して 5 回練習する	11	事前学習	敬語小テスト
	授業計画	学生と社会人の違いを 5 つの観点で比較・考察		授業計画	敬語の使い分け 内と外 間違いやすい敬語
	事後学習	他者の自己紹介メモ整備		事後学習	敬語置き換え一覧書き写し
4	事前学習	身支度行動を言語化する	12	事前学習	日常生活で敬語会話を積極的に実践
	授業計画	大人としての自己責任 第一印象の重要性 メラビアン法則		授業計画	ビジネスコミュニケーションの優先順位と使い分け
	事後学習	講義内容を 200 字でまとめる		事後学習	敬語会話の実践報告書作成
5	事前学習	身だしなみチェック表を記入する	13	事前学習	興味のある日本企業 HP を検索
	授業計画	おしゃれと身だしなみの違い スーツの正しい着方 準備と手入れ方法		授業計画	電話対応① 電話のかけ方マナー 電話メモの取り方
	事後学習	スーツの手入れと靴磨きをする		事後学習	アポ電話の台詞を書く
6	事前学習	姿勢の良い人の特徴を観察する	14	事前学習	電話対応会話資料を印刷する
	授業計画	正しい姿勢での立ち方・座り方・お辞儀の仕方・入退出動作		授業計画	電話対応② 電話の取り次ぎ 状況別対応シミュレーション
	事後学習	1 日 3 回各 1 分間の壁立ち姿勢確認		事後学習	配布資料を確認しノートを整備する
7	事前学習	身近な人の役職を調べる	15	事前学習	期末試験の準備
	授業計画	日本企業におけるタテ組織・ヨコ組織 人間関係構築の基本		授業計画	期末試験
	事後学習	役職名問題を解く		事後学習	試験の振り返り
8	事前学習	これまでの配布資料整備		事前学習	
	授業計画	シーン別挨拶の実習 オンライン画面の映り方イメージアップ法		授業計画	
	事後学習	初対面の相手への挨拶練習 10 回		事後学習	

評価方法 出席状況：30% 定期試験：50% < (課題提出) >：20%

教科書 著者名  
タイトル 教科書は指定せず、毎回プリント等を配布  
出版社  
参考書 著者名  
タイトル 複数の参考書や Web サイトより適宜引用  
出版社

年度	2022年度	学期	前期
科目名	異文化コミュニケーション演習 I	単位	2単位
学科コース	国際貿易コース		
講師名	工藤 麻紀子		
実務経験 教員紹介	一部上場企業や自治体のコンサルティング業務（IT、マーケティング、PR）、スタートアップ企業の広報部門の立ち上げに従事。		

講義概要
文化背景の異なる人々間のコミュニケーションは昨今、急激に増加している。本講義では、異文化コミュニケーションの基礎的な理論のみならず、実社会にて文化背景の異なる人同士が良好な人間関係を構築するために己を知り、実例を検証しながら、良質なコミュニケーションスキルを学ぶ。
達成目標
将来的に異なる文化背景を持つ他者と働くことを念頭に、様々なエクササイズを通じて異文化やコミュニケーションを理解し、己を理解し、異文化コミュニケーション能力を高める。
学修成果
講義の前半と終盤にアサーティブ・コミュニケーション能力（積極的な発信型のコミュニケーション）を自己チェックし、アサーティブ・コミュニケーション能力の向上を図る。

#### 授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	配布プリント通読
	授業計画	オリエンテーション 異文化コミュニケーションの障壁		授業計画	異文化適応プロセス 自己理解（異文化適応力チェック）
	事後学習	文化の定義		事後学習	自己評価（異文化適応力チェック）
2	事前学習	テキスト該当箇所通読	10	事前学習	配布プリント通読
	授業計画	文化の定義（見える文化・見えない文化） 異文化理解への態度		授業計画	ケーススタディ D. I. E. メソッドを利用した分析
	事後学習	異文化理解について		事後学習	事例評価
3	事前学習	テキスト該当箇所通読	11	事前学習	配布プリント通読
	授業計画	メラビアンの法則 言語非言語コミュニケーション		授業計画	ケーススタディ D. I. E. メソッドを使用した分析
	事後学習	言語非言語コミュニケーション		事後学習	事例評価
4	事前学習	配布プリント通読	12	事前学習	配布プリント通読
	授業計画	言語非言語コミュニケーション 表情、ジェスチャー、空間、時間等		授業計画	ケーススタディ D. I. E. メソッドを利用した分析
	事後学習	言語非言語コミュニケーション		事後学習	事例評価
5	事前学習	テキスト該当箇所通読	13	事前学習	配布プリント通読
	授業計画	自己の理解 コミュニケーション方法の分析		授業計画	ケーススタディ D. I. E. メソッドを利用した分析
	事後学習	アサーティブ・コミュニケーション		事後学習	事例評価
6	事前学習	配布プリント通読	14	事前学習	試験勉強
	授業計画	ホフステッドの国民文化六次元モデル 権力、集団個人、男性女性等		授業計画	振り返り・まとめ
	事後学習	文化とコミュニケーションスタイル		事後学習	試験勉強
7	事前学習	配布プリント通読	15	事前学習	試験勉強
	授業計画	ホフステッドの国民文化六次元モデル 不確実性、短期長期志向等		授業計画	定期試験
	事後学習	文化とコミュニケーションスタイル		事後学習	試験の振り返り
8	事前学習	配布プリント通読			
	授業計画	自己理解 対立スタイル方法の分析			
	事後学習	自己評価（対立スタイル）			

評価方法 出席状況：50% 定期試験：40% <（授業態度）>：10%

教科書 著者名 八代京子、荒木晶子、樋口容視子、山本志都、コミサロフ喜美  
 タイトル 異文化コミュニケーション・ワークブック  
 出版社 三修社

参考書 著者名  
 タイトル  
 出版社

年度	2022 年度	学期	後期
科目名	異文化コミュニケーション演習Ⅱ	単位	2 単位
学科コース	国際貿易コース		
講師名	工藤 麻紀子		
実務経験 教員紹介	一部上場企業や自治体のコンサルティング業務（IT、マーケティング、PR）、スタートアップ企業の広報部門の立ち上げに従事。		

講義概要
現代社会において、文化背景の異なる人々間のコミュニケーションは昨今、急激に増加している。本講義では、前期で学んだ異文化コミュニケーションの基礎的な理論をもとに、あらゆるビジネスシーンにおいて、特に人と人の関わり方や社会人として、必要なコミュニケーションスキルを学ぶ。
達成目標
日本的な就労観の理解と自らの文化の就労観の違いを明らかにし、自己の就労観の形成を前提に、社会人として適応するためのコミュニケーションスキルを身につける。
学修成果
実社会で必要となるアサーティブ・コミュニケーション能力を活かし、自分自身の印象や表現力を向上させる。それらを就職活動にも活かし、好印象を与えることができる。

#### 授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	配布プリント予習
	授業計画	前期の深堀 コミュニケーションの6機能モデル		授業計画	ビジネスコミュニケーションの基本 電話対応
	事後学習	復習		事後学習	復習
2	事前学習	配布プリント通読	10	事前学習	配布プリント予習
	授業計画	前期の深堀 文化とコミュニケーション		授業計画	ビジネスコミュニケーションの基本 電話対応ロールプレイ
	事後学習	復習		事後学習	復習
3	事前学習	配布プリント通読	11	事前学習	配布プリント予習
	授業計画	前期の深堀 メディアとコミュニケーション		授業計画	ビジネスコミュニケーションの基本 ビジネス文書
	事後学習	復習		事後学習	復習
4	事前学習	配布プリント通読	12	事前学習	配布プリント予習
	授業計画	前期の深堀 価値観とコミュニケーション		授業計画	ビジネスコミュニケーションの基本 ビジネス文書ロールプレイ
	事後学習	復習		事後学習	復習
5	事前学習	配布プリント予習	13	事前学習	事前に提示される問題について考察
	授業計画	ビジネスコミュニケーションの基本 仕事の基本となる8つの意識		授業計画	異文化トレーニング（上司との関わり）
	事後学習	復習		事後学習	復習
6	事前学習	配布プリント予習	14	事前学習	事前に提示される問題について考察
	授業計画	ビジネスコミュニケーションの基本 上司との関わり（指示の受け方）		授業計画	異文化トレーニング（多文化組織）
	事後学習	復習		事後学習	復習
7	事前学習	配布プリント予習	15	事前学習	試験勉強
	授業計画	ビジネスコミュニケーションの基本 上司との関わり（報告連絡相談）		授業計画	定期試験
	事後学習	復習		事後学習	試験の振り返り
8	事前学習	配布プリント予習			
	授業計画	ビジネスコミュニケーションの基本 ビジネスシーンでの話し方・聞き方			
	事後学習	復習			

評価方法	出席状況：50% 定期試験：40% <（授業態度）>：10%
教科書	著者名 八代京子、荒木晶子、樋口容視子、山本志都、コミサロフ喜美 タイトル 異文化コミュニケーション・ワークブック 出版社 三修社
参考書	著者名 タイトル 出版社



年度	2022 年度	学期	前期
科目名	情報処理 I	単位	2 単位
学科コース	国際貿易コース		
講師名	滝口 直樹		
実務経験 教員紹介	IT インストラクター、情報処理試験講師、ライター、Web ディレクター。現在は、主に明治大学非常勤講師、専門学校非常勤講師、企業研修講師を中心に従事。		

講義概要
Microsoft Word の操作を中心に、コンピュータによる文書作成の基礎を学びます。Word の基本操作、日本語による文章入力、ビジネス文書の作成ルールなどを実習による習得します。 講義内容は MOS Word 試験にも対応し、資格取得への対策も行います。
達成目標
日本語文章入力（10 分間に 400 文字程度） Microsoft Word の基本操作（ビジネス現場において不足のない内容を網羅）※希望者は MOS Word を受験・合格
学修成果
日本語入力の手法を取得し、正確に入力ができる力を得る。 Word の基本操作を習得し、ビジネス文書やチラシなどの書類を効率的に作成するスキルを得る。

#### 授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	前回の操作の復習
	授業計画	「ガイダンス・コンピュータの基礎」 コンピュータのしくみ、入力方法		授業計画	「リスト」 箇条書きの作成、段落番号の作成
	事後学習	ローマ字の復習		事後学習	操作の復習
2	事前学習	ローマ字の復習	10	事前学習	前回の操作の復習
	授業計画	「日本語入力」 ローマ字による日本語入力方法		授業計画	「クリップボード・検索と置換」 コピー・移動、検索、置換
	事後学習	ローマ字の復習		事後学習	操作の復習
3	事前学習	ローマ字の復習	11	事前学習	前回の操作の復習
	授業計画	「日本語文章入力」 文節の漢字変換を伴う短文入力方法		授業計画	「目次、用紙設定」 目次の追加、用紙・余白等の設定
	事後学習	入力練習		事後学習	操作の復習
4	事前学習	前回の操作の復習	12	事前学習	前回の操作の復習
	授業計画	「フォントの設定 1」 フォント種、 サイズ等の設定、文字揃えの設定		授業計画	「表の作成 1」 表の作成、デザイン変更
	事後学習	操作の復習		事後学習	操作の復習
5	事前学習	前回の操作の復習	13	事前学習	前回の操作の復習
	授業計画	「フォントの設定 2」 フォントの色、 インデント、あいさつ文		授業計画	「表の作成 2」 表のレイアウト設定
	事後学習	操作の復習		事後学習	操作の復習
6	事前学習	前回の操作の復習	14	事前学習	苦手範囲の把握
	授業計画	「行と段落」 行間の設定、段落設定		授業計画	「総復習」 これまでの学習の総復習・問題練習
	事後学習	操作の復習		事後学習	試験に向けての総復習
7	事前学習	テストに向けての総復習	15	事前学習	試験に向けての総復習
	授業計画	「小テスト」 小テストと解説		授業計画	定期試験
	事後学習	テストの見直し		事後学習	試験の振り返り
8	事前学習	前回の操作の復習			
	授業計画	「テーマ、スタイル」 テーマの変更、スタイルの設定			
	事後学習	操作の復習			

評価方法 出席状況：30% 定期試験：40% <（平常点）>：30%

教科書 著者名 FOM 出版  
タイトル Microsoft Word 2016 対策テキスト& 問題集  
出版社 FOM 出版

参考書 著者名  
タイトル  
出版社

年度	2022 年度	学期	後期
科目名	情報処理Ⅱ	単位	2 単位
学科コース	国際貿易コース		
講師名	滝口 直樹		
実務経験 教員紹介	IT インストラクター、情報処理試験講師、ライター、Web ディレクター。現在は、主に明治大学非常勤講師、専門学校非常勤講師、企業研修講師を中心に従事。		

講義概要
Microsoft Excel の操作を中心に、コンピュータによる表計算・分析の基礎を学びます。 Excel の基本操作、データ分析の基礎、集計作業、グラフ作成などについて実習による習得します。 講義内容は MOS Excel 試験にも対応し、資格取得への対策も行います。
達成目標
日本語文章入力（10 分間に 400 文字程度）※通年 Microsoft Excel の基本操作（ビジネス現場において不足のない内容を網羅）希望者は MOS Excel を受験・合格
学修成果
日本語入力の手法を取得し、正確に入力ができる力を得る。 Excel の基本操作を習得し、データ集計や分析を効率的に作成するスキルを得る。

#### 授業計画

1	事前学習	前回の操作の復習	9	事前学習	前回の操作の復習
	授業計画	「オート SUM」 基本的な関数（SUM・AVERAGE など）		授業計画	「視覚表現」 スパークライン、条件付き書式
	事後学習	操作の復習		事後学習	操作の復習
2	事前学習	前回の操作の復習	10	事前学習	前回の操作の復習
	授業計画	「条件付き関数」 SUMIF・AVERAGEIF、COUNTIF		授業計画	「データ保護」 セルのロック、シート保護、ファイル保存
	事後学習	操作の復習		事後学習	操作の復習
3	事前学習	前回の操作の復習	11	事前学習	前回の操作の復習
	授業計画	「文字列操作」 LEFT・RIGHT・MID		授業計画	「印刷」 印刷設定、表示モードの変更
	事後学習	操作の復習		事後学習	操作の復習
4	事前学習	前回の操作の復習	12	事前学習	前回の操作の復習
	授業計画	「並べ替え・フィルタ」 データの並べ替え、フィルタ（絞込み）操作		授業計画	「MOS 模擬試験演習」 模擬試験の説明、演習
	事後学習	操作の復習		事後学習	操作の復習
5	事前学習	前回の操作の復習	13	事前学習	前回の操作の復習
	授業計画	「小テスト」 小テストと解説		授業計画	「MOS 模擬試験演習」 模擬試験の説明、演習
	事後学習	操作の復習		事後学習	操作の復習
6	事前学習	前回の操作の復習	14	事前学習	苦手範囲の把握
	授業計画	「入力規則」 データの入力規則の操作		授業計画	「MOS 模擬試験演習」 模擬試験の説明、演習
	事後学習	操作の復習		事後学習	試験に向けての総復習
7	事前学習	前回の操作の復習	15	事前学習	試験に向けての総復習
	授業計画	「グラフの作成」 棒グラフ・円グラフ・折れ線グラフの作成		授業計画	定期試験
	事後学習	操作の復習		事後学習	試験の振り返り
8	事前学習	前回の操作の復習			
	授業計画	「グラフの編集」 グラフの詳細設定			
	事後学習	操作の復習			

評価方法 出席状況：30% 定期試験：40% <（平常点）>：30%

教科書 著者名 FOM 出版  
タイトル Microsoft Excel2016 対策テキスト& 問題集  
出版社 FOM 出版

参考書 著者名  
タイトル  
出版社

年度	2022 年度	学期	前期
科目名	MOS 検定対策	単位	2 単位
学科コース	国際貿易コース		
講師名	滝口 直樹		
実務経験 教員紹介	IT インストラクター、情報処理試験講師、ライター、Web ディレクター。現在は、主に明治大学非常勤講師、専門学校非常勤講師、企業研修講師を中心に従事。		

講義概要
MOS 検定受験を念頭に、Microsoft Word2016 および Excel2016 の操作を中心に操作を学びます。 また、試験対策として模擬試験をはじめとする問題演習なども並行して進めます。 前期に引き続き、日本語入力練習については毎回実施します。
達成目標
日本語文章入力（10 分間に 400 文字程度） MOS Worf2016 および MOS Excel2016 に対応する操作の習得。
学修成果
Microsoft Word2016 の操作を、MOS 検定一般レベルの基準を満たす範囲で学習します。 また、Excel2016 の基本操作も習得します。

#### 授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	なし
	授業計画	MOS ガイダンス 試験概要、模擬試験の確認、学習方法		授業計画	「Excel の基礎」 Excel の画面説明、新規作成・保存方法
	事後学習	なし		事後学習	ローマ字の復習
2	事前学習	前回の操作の復習	10	事前学習	前回の操作の復習
	授業計画	「ヘッダーとフッター」ヘッダー、フッターの設定、ページ番号		授業計画	「セルの扱い」セルの基本操作、オートフィルによるコピー
	事後学習	操作の復習		事後学習	ローマ字の復習
3	事前学習	前回の操作の復習	11	事前学習	前回の操作の復習
	授業計画	「画像（写真・イラスト）」 画像の挿入・編集		授業計画	「四則演算」セル参照による演算、絶対参照・相対参照
	事後学習	操作の復習		事後学習	入力練習
4	事前学習	前回の操作の復習	12	事前学習	前回の操作の復習
	授業計画	「図形」 図形の追加・編集、テキストボックスの追加		授業計画	「四則演算」 セル参照による演算、複合参照
	事後学習	操作の復習		事後学習	入力練習
5	事前学習	前回の操作の復習	13	事前学習	前回の操作の復習
	授業計画	「スマートアート」 スマートアートの挿入、編集		授業計画	「表の作成・画面操作」 罫線の設定、塗りつぶし、セルの結合
	事後学習	操作の復習		事後学習	操作の復習
6	事前学習	前回の操作の復習	14	事前学習	前回の操作の復習
	授業計画	「環境設定」Word オプション、情報画面、プロパティ		授業計画	「テーブル」 テーブルの作成、設定
	事後学習	操作の復習		事後学習	操作の復習
7	事前学習	前回の操作の復習	15	事前学習	テストに向けての総復習
	授業計画	「参考資料」 脚注の挿入、参考文献の扱い		授業計画	「小テスト」 小テストと解説
	事後学習	操作の復習		事後学習	テストの振り返り
8	事前学習	前回の操作の復習		事前学習	
	授業計画	「セキュリティ・保存時の検査」 パスワードの設定、ドキュメント検査		授業計画	
	事後学習	操作の復習		事後学習	

評価方法 出席状況：30% 定期試験：40% <（平常点）>：30%

教科書 著者名 FOM 出版  
 タイトル Microsoft Word 2016 対策テキスト& 問題集  
 出版社 FOM 出版

参考書 著者名  
 タイトル  
 出版社

年度	2022 年度	学期	前期
科目名	計算能力演習 I (簿記)	単位	2 単位
学科コース	国際貿易コース		
講師名	高橋 雅巳		
実務経験 教員紹介	証券会社におけるコンサルティング営業及び社会人を対象としたファイナンシャルプランナー資格取得講座の運営		

講義概要
簿記は、企業の経済活動に欠くことのできないものです。大企業から中小企業、個人商店にいたるまで簿記を用いています。また簿記の資格は、ビジネス系の資格においては常に人気ナンバーワンとなっています。この講義では商業簿記の基本について問題演習を中心に講義を進めていきます。
達成目標
簿記の基本を理解し、会社における日常取引および決算の基本的な処理についての実践的なスキルの習得を目標とします。また、全経簿記能力検定試験 3 級の合格を目標とします。
学修成果
企業における期中取引の基本仕訳、主要簿、補助簿の記入及び作成、決算手続きなど、簿記の基本処理が可能となります。また全経簿記能力検定 3 級に合格することができます。

#### 授業計画

1	事前学習	事前配布プリントの該当箇所通読	9	事前学習	前回講義のプリントの読み返し
	授業計画	ガイダンス 簿記の資格検定試験(全経簿記能力検定、日商簿記検定)		授業計画	全経簿記 3 級第 2 問計算問題対策、問題演習、解答解説
	事後学習	講義ノート整理		事後学習	該当箇所の問題演習を再度行う
2	事前学習	前回説明の復習	10	事前学習	前回講義のプリントの読み返し
	授業計画	貸借対照表・損益計算書の作成問題演習と解説		授業計画	全経簿記 3 級第 3 問伝票問題対策、問題演習、解答解説
	事後学習	該当箇所の問題演習を再度行う		事後学習	該当箇所の問題演習を再度行う
3	事前学習	前回講義のプリントの読み返し	11	事前学習	前回講義のプリントの読み返し
	授業計画	簿記上の取引、基本仕訳、仕訳帳についての問題演習と解説		授業計画	全経簿記 3 級第 1 問仕訳問題対策①、問題演習、解答解説
	事後学習	該当箇所の問題演習を再度行う		事後学習	該当箇所の問題演習を再度行う
4	事前学習	前回講義のプリントの読み返し	12	事前学習	前回講義のプリントの読み返し
	授業計画	総勘定元帳の勘定口座への転記、試算表の作成についての問題演習と解説		授業計画	全経簿記 3 級第 1 問仕訳問題対策②、問題演習、解答解説
	事後学習	該当箇所の問題演習を再度行う		事後学習	該当箇所の問題演習を再度行う
5	事前学習	前回講義のプリントの読み返し	13	事前学習	前回講義のプリントの読み返し
	授業計画	商品売買の仕訳演習、仕入帳、売上帳、仕入先元帳、得意先元帳について		授業計画	全経簿記 3 級第 4 問帳簿作成問題対策、問題演習、解答解説
	事後学習	該当箇所の問題演習を再度行う		事後学習	該当箇所の問題演習を再度行う
6	事前学習	前回講義のプリントの読み返し	14	事前学習	前回講義のプリントの読み返し
	授業計画	商品有高帳について		授業計画	全経簿記 3 級直前対策総まとめ、問題演習、解答解説
	事後学習	該当箇所の問題演習を再度行う		事後学習	該当箇所の問題演習を再度行う
7	事前学習	前回講義のプリントの読み返し	15	事前学習	定期試験受験のための総復習
	授業計画	現金取引、当座預金取引の仕訳問題演習、現金出納帳、当座預金出納帳		授業計画	定期試験
	事後学習	該当箇所の問題演習を再度行う		事後学習	試験の振り返り
8	事前学習	前回講義のプリントの読み返し			
	授業計画	小口現金の仕訳と小口現金出納帳の作成			
	事後学習	該当箇所の問題演習を再度行う			

評価方法 出席状況 : 25% 定期試験 : 50% < (課題・小テスト) > : 25%

教科書	著者名	ネットスクール株式会社 桑原知之
	タイトル	全経簿記能力検定試験公式問題集 3 級
	出版社	ネットスクール出版
参考書	著者名	全国経理教育協会
	タイトル	全経過去問シリーズ簿記能力検定試験 3 級
	出版社	ネットスクール出版

年度	2022 年度	学期	後期
科目名	計算能力演習Ⅱ（簿記）	単位	2 単位
学科コース	国際貿易コース		
講師名	高橋 雅巳		
実務経験 教員紹介	証券会社におけるコンサルティング営業及び社会人を対象としたファイナンシャルプランナー資格取得講座の運営		

講義概要
全経簿記能力検定試験 3 級レベルの商業簿記の復習をしながら、全経簿記能力検定試験 2 級レベルの商業簿記について問題演習を行います。特に複雑な期中取引や、株式や社債の発行、利益処分などの株式会社特有の処理方法、本支店会計についての問題演習を行います。
達成目標
個人企業及び法人企業の経理担当者または経理補助者として必要な商業簿記に関する知識と実務処理能力を有し、かつ全経簿記能力検定 2 級に合格することを目標とします。
学修成果
小規模な株式会社の経理担当者が必要な経理実務処理（期中の仕訳、勘定口座への転記及び主要簿、補助簿の作成、決算手続きの基本処理）が可能となります。

#### 授業計画

1	事前学習	なし	9	事前学習	前回講義のプリントの読み返し
	授業計画	3 級商品売買、特殊商品売買取引の仕訳問題演習		授業計画	剰余金の配当と損失の処理、欠損てん補の問題演習
	事後学習	該当箇所の問題演習を再度行う		事後学習	該当箇所の問題演習を再度行う
2	事前学習	前回講義のプリントの読み返し	10	事前学習	前回講義のプリントの読み返し
	授業計画	3 級手形取引、手形更改、不渡り、為替手形の問題演習		授業計画	全経簿記検定 2 級第 2 問対策問題演習
	事後学習	該当箇所の問題演習を再度行う		事後学習	該当箇所の問題演習を再度行う
3	事前学習	前回講義のプリントの読み返し	11	事前学習	前回講義のプリントの読み返し
	授業計画	荷為替手形の取引、有価証券の評価替えの問題演習		授業計画	全経簿記検定 2 級第 3 問対策問題演習
	事後学習	該当箇所の問題演習を再度行う		事後学習	該当箇所の問題演習を再度行う
4	事前学習	前回講義のプリントの読み返し	12	事前学習	前回講義のプリントの読み返し
	授業計画	3 級有形固定資産、有形固定資産の取得・売却、建設仮勘定の問題演習		授業計画	全経簿記検定 2 級第 4 問対策問題演習
	事後学習	該当箇所の問題演習を再度行う		事後学習	該当箇所の問題演習を再度行う
5	事前学習	前回講義のプリントの読み返し	13	事前学習	前回講義のプリントの読み返し
	授業計画	有形固定資産の期中売却、繰延資産の問題演習		授業計画	全経簿記検定 2 級第 1 問仕訳問題対策①問題演習
	事後学習	該当箇所の問題演習を再度行う		事後学習	該当箇所の問題演習を再度行う
6	事前学習	前回講義のプリントの読み返し	14	事前学習	前回講義のプリントの読み返し
	授業計画	3 級貸倒引当金、貸倒引当金、修繕引当金、商品保証引当金の問題演習		授業計画	全経簿記検定 2 級第 1 問仕訳問題対策②問題演習
	事後学習	該当箇所の問題演習を再度行う		事後学習	該当箇所の問題演習を再度行う
7	事前学習	前回講義のプリントの読み返し	15	事前学習	定期試験受験のための総復習
	授業計画	社債取引の問題演習		授業計画	定期試験
	事後学習	該当箇所の問題演習を再度行う		事後学習	試験の振り返り
8	事前学習	前回講義のプリントの読み返し			
	授業計画	株式会社の資本構成と株式発行の問題演習			
	事後学習	該当箇所の問題演習を再度行う			

評価方法 出席状況：25% 定期試験：50% <（課題・小テスト）>：25%

教科書 著者名 ネットスクール株式会社 桑原知之  
 タイトル 全経簿記能力検定試験公式問題集 2 級商業簿記  
 出版社 ネットスクール出版

参考書 著者名  
 タイトル  
 出版社